

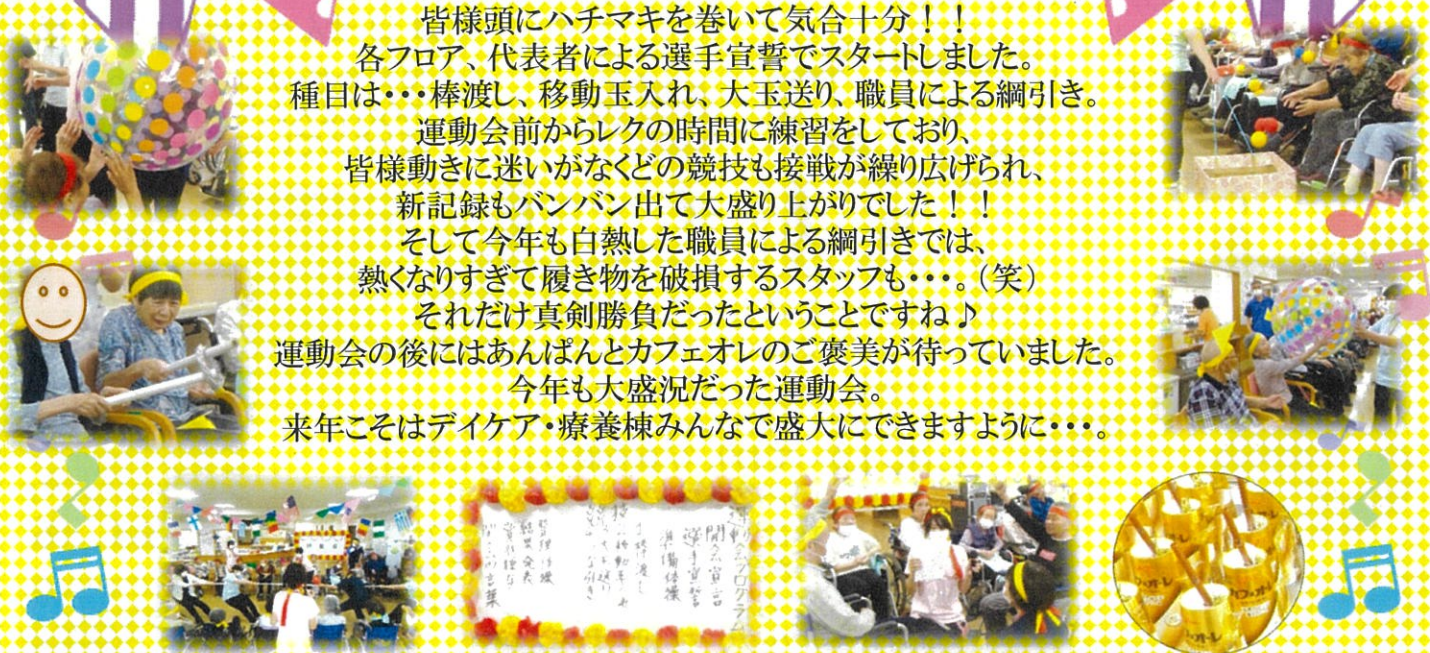
トワーム通信第37号

医療法人社団松弘会
介護老人保健施設トワーム熊谷
埼玉県熊谷市小曾根337-1
TEL: 048-599-3377

2023年7月発行

療養棟運動会

デイケアに続き、療養棟でも運動会を開催いたしました。赤組と黄色組に分かれて競います。皆様頭にハチマキを巻いて気合十分！！各フロア、代表者による選手宣誓でスタートしました。種目は・・・棒渡し、移動玉入れ、大玉送り、職員による綱引き。運動会前からレクの時間に練習をしており、皆様動きに迷いがなくどの競技も接戦が繰り広げられ、新記録もバンバン出て大盛り上がりでした！！そして今年も白熱した職員による綱引きでは、熱くなりすぎて履き物を破損するスタッフも・・・。(笑) それだけ真剣勝負だったということですね♪運動会の後にはあんぱんとカフェオレのご褒美が待っていました。今年も大盛況だった運動会。来年こそはデイケア・療養棟みんなで盛大にできますように・・・。



認知症サポーター養成講座

こんにちは。トワーム熊谷人材育成課の藤川です。超高齢社会の日本では「認知症」は他人事ではありません。誰もが安心して尊厳ある暮らしが送れるように、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族の応援者となってもらう「認知症サポーター」を一人でも増やしていこうと取り組んでいるのが、「認知症サポーター養成講座」です。日本全国で「認知症サポーターキャラバン」が、この講座を開いています。熊谷市では市役所の長寿いきがい課と地域包括支援センターが中心に、市内の小中学校でも開催しています。私は認知症サポーター養成講座の講師の資格(キャラバンメイト)を持っていて、市内で開催している「認知症サポーター養成講座」に参加しています。こちらの講座はどなたでも受講することができます。興味のある方は、ぜひ参加してみたいかがでしょうか。



VIEWBOX体験してきました！！

6月4日日曜日、埼玉スタジアムでの浦和レッズvs鹿島アントラーズの試合を、VIEWBOXで観戦できる機会をいただき、トワーム熊谷の職員とその家族とで行って参りました！！赤い絨毯の廊下にはホテルマンのようなスタッフさんが立っており、一人一人に「いらっしゃいませ」と挨拶をしてくれ、開場までの待ち時間にはウェルカムドリンクまで用意されており、高級ホテルに来たかのようなおもてなしに、試合前からテンションが上がるトワーム軍団。(笑)通されたお部屋では立食形式の食事に、ドリンクはアルコールも含め飲み放題のお部屋から一步外に出れば、スタジアムを一望できる特別なシートで試合を楽しめ、まさにVIP待遇でございました。試合は0-0とスコアレスドローで終わり残念ではありましたが、帰りにはタオルマフラーなどのお土産も・・・！！本当に貴重な体験をさせていただきました。スポンサー契約をしてくださった理事長先生、本当にありがとうございました。



料金改定のお知らせ

デイケアに設置されております、無人販売エリアの商品ですが、この度物価高騰のあおりを受け、令和5年7月10日月曜日の商品補充後より、下記の料金へ変更となります。

現行価格110円
⇒ 改定後価格120円

設置当初から多くのお客様にご利用いただいております、大変心苦しくはありますが、何卒ご理解の程よろしくお願ひ致します。



トワーム熊谷自慢のお食事紹介コーナー



スマイルホリデー(青森県)



■ □ せんべい汁とは？ □ ■

保存食だった南部せんべいをあら汁に入れて、煮たことが起源とされています。(諸説あり)

- ・とりめし
- ・フロッコリーのほたてあん
- ・大根とハムの青じそサラダ
- ・せんべい汁
- ・りんごゼリー

八木牧ピクニック

5月6月は療養棟2階のお客様が外出イベントへ♪暑さが増してきたのでお出かけの際には麦わら帽子を着用。日差しは暑くても風は心地よく、木陰で食べる濃厚なソフトクリームは格別に美味しいですね。皆様ぺろりと召し上がっており、写真を撮ろうとした時にはすでに食べ終わっているお客様もいらっしゃいました。(笑) ヤギやうさぎとの触れ合いも皆様とっても嬉しそうで、ちいちゃい赤ちゃんうさぎの可愛さにはメロメロに・・・5月10日に八木牧姉妹店「こちとき」さんがオープンしたそうです。こちらではソフトクリームはもちろん、手作りのヨーグルトがお勧めだとか。ぜひ皆様も足を運んでみてくださいね(*^-^*)



施設長 矢島の独り言

人新世(Anthropocene)を地質時代の第四紀(更新世、完新世)の3番目の時代区分にしようとする提案が国際地質学会議でなされています。大方の意見では人新世は完新世に続き1950年から始まるとされています。

世界の人口は図のように1950年に人口増加率が急増しました。1950年に25億人だった世界人口は2022年に80億人に達しました。2080年104億人をピークとして世界人口は減少に転じ、世界中が少産少死となります。この原因として、①第2次世界大戦が終わって世界中を巻き込む戦争がなくなったこと、②化学肥料が安価に使えるようになったこと、③抗生物質やワクチンなど医療の進歩により長寿化したこと、④人口動態の変化は社会経済の発展に伴って、多産多死から多産少死、少産少死へと変化します(人口転換理論:少産へ向かうのは養育費の増大、女性の自立などのためといわれています)。日本や欧米諸国は少産少死ですが、アフリカ、南米、インドなどは多産少死で人口が増え続けていることが挙げられます。

後世の地質学者が今の地層を見たら1950年頃に新しい地質時代が始まったと思うでしょう。火葬が主になったので何10億もの人骨が出ることはありませんが、①大量の化学肥料使用によって湖や海が富栄養化(窒素、リンなど)して藻類やプランクトンの異常増殖を起こし酸素不足から大量の死骸が湖底や海底に沈殿します。これが時間が経つと黒い泥岩の地層になります。②戦後、原水爆の実験、チェルノブイリ原発事故や福島原発事故などにより人工放射性物質が世界中に拡散しました。この放射能が地層に堆積します。③人口増加に伴いエネルギー消費量が増大して大量の二酸化炭素が大気中に放出されました。その結果、海が酸性化して珊瑚礁が消失、甲殻類や貝類の減少、食物連鎖の上位の大型魚の減少が始まっています。④森林を農地や都市へ転換、気候変動の加速などによって既に多くの生物種が絶滅しています。地質年代の境目には5回の大量絶滅(OS extinction, FF e., PT e., Tj e., KPg e.)がありました。現在は6回目の絶滅が進行中と言われています。

人新世とは人類の破壊の痕跡が地層に残った時代であると後世に云われられないように、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた取り組みに、私たちができることから始めて行きましょう。

